

1. 科目名（単位数）	日本語教育概論（2 単位）		3. 科目番号	EJJP3151
2. 授業担当教員	山口 雅代			
4. 授業形態	講義・演習・討論・発表		5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・ 他科目との関係				
7. 講義概要	日本語教育について考えるコースとして、日本語教育の情勢、教育内容、教授法などをさまざまな面から概観した上で、日本語教育における教師の役割や仕事について考える。さらに、第二言語として日本語を教えるという、日本語教育に積極的に関わろうとする多くの学習者の一助にしたい。発表については、各自がアサイメントでまとめた内容を発表し、それについての討論を実施していく。			
8. 学習目標	1) 日本語教育の情勢を理解する。 2) 日本語教育の概観を理解する。 3) 日本語教育における教師の役割を理解する。 4) 日本語教育における教師の仕事を理解する。			
9. アサイメント （宿題）及びレポ ート課題	授業時に配布したワークシートは、授業後に提出する。 課題レポートは、授業時に告知した期日までに提出する。 課題レポート： ・日本語教師の役割と条件 ・「コースデザインを考える」（どこで誰に何をどのように教えるのかまとめる）			
10. 教科書・参考書・ 教材	【教科書】高見沢孟監『新・はじめての日本語教育 2』アスク、2016。 【参考書】 遠藤織枝編『日本語教育を学ぶ』三修社、2011。 国際日本語研修協会『日本語教育と評価』凡人社、2009。 国際交流基金『日本語教師の役割／コースデザイン』国際交流基金、2006。 森篤嗣編『超基礎・日本語教育』くろしお出版、2019。			
11. 成績評価の規準 と評定の方法	○成績評価の規準 1. 日本語教育の情勢を理解し、説明できるか。 2. 日本語教育において教師の仕事について理解できたか。 ○評定の方法 授業への積極的参加度や日常の受講態度、課題や発表、レポート等を総合して評価する。 1 授業への積極的参加・受講態度 総合点の30％ 2 課題・発表 総合点の30％ 3 課題レポート 総合点の40％ なお、本学規定により、3/4 以上の出席が確認できない場合は単位修得を認めない。			
12. 受講生への メッセージ	授業には誠実に参加し、お互いの力量と自らの目標を達成するために積極的に研究・討論に取り組むこと。 ・授業中の私語は厳禁とする。 ・質問・意見等は授業中に解決するよう努力すること。 ・授業中の携帯電話・メールや私語、飲食は絶対に慎むこと。			
13. オフィスアワー	授業中に知らせる。			
14. 授業展開及び授業内容				
講義日程	授業内容		学習課題	
第1回	シラバス確認、日本語教育事情		事前学習	世界の日本語教育事情について考える。
			事後学習	世界の日本語教育事情について理解する。
第2回	第1章 日本語教師の役割 1. 教師は何をするのか：日本語教師の役割		事前学習	pp.8～11 を読んで理解する。
			事後学習	ワークシートに記入する。
第3回	1. 教師は何をするのか：学習者の不安を考える		事前学習	pp.12～13 を読んで理解する。
			事後学習	ワークシートに記入する。
第4回	2. 教師に求められる条件：求められる日本語力		事前学習	pp.14～16 を読んで理解する。
			事後学習	ワークシートに記入する。
第5回	2. 教師に求められる条件：求められる知識		事前学習	pp.16～19 を読んで理解する。
			事後学習	ワークシートに記入する。
第6回	2. 教師に求められる条件：日本語教師に向いている性格、まとめ		事前学習	pp.19～20 を読んで理解する。
			事後学習	ワークシートに記入する。
第7回	第2章 日本語を教えるということ 1. どこまで教えるか 2. 何をどう教えるか		事前学習	pp.22～23 を読んで理解する。
			事後学習	ワークシートに記入する。
第8回	Ⅰ. ニーズ調査		事前学習	pp.23～25 を読んで理解する。
			事後学習	ワークシートに記入する。
第9回	Ⅱ. レディネス調査		事前学習	pp.26～30 を読んで理解する。
			事後学習	ワークシートに記入する。
第10回	Ⅲ. シラバス、まとめ		事前学習	pp.31～36 を読んで理解する。
			事後学習	ワークシートに記入する。
第11回	3. カリキュラム 4. 教材の選択 まとめ		事前学習	pp.37～42 を読んで理解する。
			事後学習	ワークシートにまとめる。

第 1 2 回	レッスンプラン、コースデザインを考えて発表する	事前学習	これまでのワークシートを見直し、レッスンプラン、・コースデザインを考える。
		事後学習	レッスンプラン・コースデザインを見直す。
第 1 3 回	第 8 章 評価と試験 1. 評価の対象 2. 学習者に対する評価 3. 試験の種類	事前学習	pp.138～141 を読んで理解する。
		事後学習	ワークシートに記入する。
第 1 4 回	4. 試験の目的別の分類 5. 試験問題の種類 6. 試験の効果	事前学習	pp.142～148 を読んで理解する。
		事後学習	ワークシートに記入する。
第 1 5 回	コースデザインについてまとめとフィードバック	事前学習	コースデザインを作成すること。
		事後学習	コースデザインについて見直す。